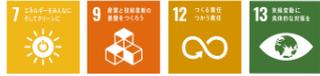


Kitabaru 鍛カンパニー

貢献するSDGs



プレジデント 経営役員

近藤 徹夫

profile

2021年4月に鍛カンパニープレジデントに就任。



社会に提供する価値

「走る・曲がる・止まる」という車の要求性能の原点に対し、鋼材～鍛造～加工の一貫した高効率な製造プロセスを進化させ、低炭素時代の多様なモビリティ社会へ貢献します。

愛知製鋼の取り扱い鍛造品事例



事業分野

- 主力製品：熱間/温間/冷間による特殊鋼鍛造品、機械加工品など
- 主な用途：自動車のエンジン部品、ギア・トランスミッション・ドライブライン部品、BEV向け電動アクスル部品など

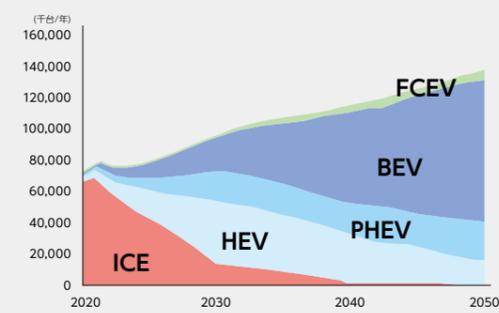
カンパニーの強み

- 「鍛鋼一貫」で磨き上げた鋼種開発・鋼材製造・鍛造製造の高い技術力
- 多様化する顧客ニーズに「トータルソリューション」で応える鋼材～鍛造～加工までの幅広い総合力
- 自動車メーカーとの強固なパートナー関係

事業環境

主要顧客である自動車業界では、加速する脱炭素社会への移行により、欧州、北米、中国を中心に「電動車」へのシフトが本格化しています。一方で電力インフラ整備やバッテリーに必要な希少資源の供給制約などの課題も顕在化しています。そのため自動車の脱炭素は、BEVに加えICE・HEV・PHEVなど内燃機関やFCEVなども選択肢として、各地域のニーズや事情に応じた、いわゆるマルチパスウェイ（全方位戦略）で進むと見込んでいます。また自動車の需要も新興国を中心に着実に拡大することから、鍛造品の需要は維持または緩やかな成長を見込んでいます。

世界新車販売構成(乗用車)



中長期の成長戦略

絶えず変化し続ける事業環境へ柔軟に対応するため、「電動化」と「低炭素社会」の両立をキーワードに掲げ、下記4点を中長期戦略における重点課題として取り組みを進めています。

重点課題	取り組み
完成品メーカーへの進化	電動化に伴う車への要求性能変化をダイレクトに製品へ反映し、未来のモビリティ社会へフィットする高精度な機械加工商品の提供
新商品の開発	「低炭素社会」を見据えた商品開発に注力し、より環境へ配慮した電動車向け製品の開発・拡販
多品種少量生産体制の構築	今後拡大するモビリティ社会の多様性に対応するため、従来の構造に捉われない生産技術の確立と生産体制の整備による収益力の強化
グローバル連結力強化	電動化に伴い発展させてきた日本での技術を海外子会社へ移植し、QCD競争力を武器にした海外での拡販と事業拡大

2022年度の実績

新型コロナによる生産制約や半導体不足に伴う自動車生産の不安定化などの影響が一部地域で残る一方、底堅い需要に支えられ、鍛造品の販売数量が増加しました。特に海外での増加が売上収益の拡大に寄与しました。収益面では材料やエネルギー価格の高騰が下押し要因となり、前年比減益となりましたが、黒字を確保しました。

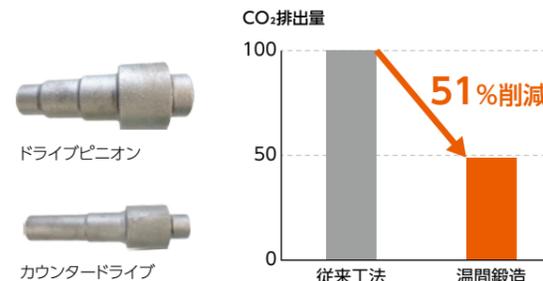
売上収益



成果と今後の取り組み

＜国内事業＞ ～低炭素社会の実現に向けて～

低炭素社会実現に向けた取り組みの一環として、熱間鍛造から温間鍛造への工法転換を進めています。加熱温度を下げることで熱処理工程を不要にすることで消費エネルギーを抑制し、従来比51%のCO₂の排出量の低減が可能となりました。2022年度は、主力製品のひとつであるHEV用ドライブピニオンの生産工程に導入しました。環境性能の向上を通じて製品競争力を高めるため、温間鍛造の適用対象を順次拡大しており、現在は将来の需要拡大が見込まれる電動アクスル部品(ドライブピニオン、カウンタードライブ)への適用に取り組んでいます。



＜海外事業＞ ～もったいいフルマブクリへの貢献と技能伝承～

主力製品のひとつであるコンロッドにはエンジンのダウンサイジングに伴い、軽量化と高強度化の両立が求められています。当社では、これに対応するため従来の焼結品から鍛造品への置換えを進めており、2022年には北米におけるトヨタグループ唯一の鍛造サプライヤーである当社子会社のAFUで、鍛造による製造ラインの稼働を開始しました。トヨタ自動車の製造技術を移植するとともに、焼結コンロッドで培った知見やスキルを融合することで、軽量化と高強度化の両立に加え、高い生産効率を実現し、海外事業における収益拡大に貢献しています。

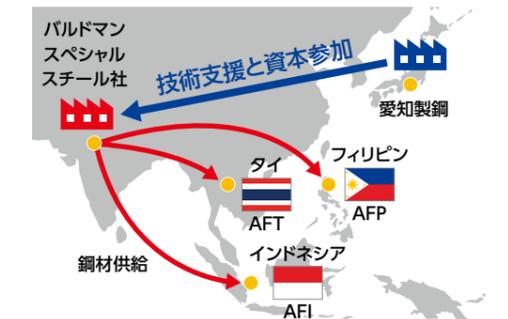


グループ会社トピック

鍛造品のグローバル競争力強化

アセアンでの自動車産業の成長と特殊鋼需要の拡大を背景に、インドのバルドマンスペシャルスチール社へ資本参加し、海外事業の収益拡大に取り組んでいます。これまで当社の国内工場で製造した鋼材を、アセアン各地の鍛造拠点で使用していましたが、競争力の強化を目的に、インドからの供給体制を構築し、切り替えを進めることで鍛造品の海外事業拡大に繋がっています。今後も供給体制を充実させることで収益力の底上げ、強靱化を進めます。

アセアン地域における鍛造品の競争力強化



アジアサプライチェーン(例)